

[様式9-表]

第二種奨学金(海外)転学部・転学科奨学金継続願

独立行政法人

日本学生支援機構理事長 殿

下記のとおり転学部・転学科しましたので、引続き奨学金貸与の継続をお願いします。

また、卒業期が延びる場合には、返還総額が増すことを理解したうえで、独立行政法人日本学生支援機構学資金の貸与期間(終期)を下記のとおり延長することを願います。

なお、返還誓約書(兼個人情報取扱いに関する同意書)で確認し、誓約した内容に加えて、貸与期間(終期)の延長に係る一切の債務に関しても、確認書並びに返還誓約書(兼個人情報取扱いに関する同意書)及び日本学生支援機構諸規定に定める取扱いに従うことを誓約します。

■奨学生本人記入項目 ※太枠線内及び必要事項は正確に、もれなく記入し、押印のうえ本機構に提出してください。

記入日	西暦 年 月 日	生年月日	西暦 年 月 日 (満 歳)
奨学生番号		フリガナ	
8	0	氏名 (自署)	印

転出・転入内容				転学部・転学科年月日	卒業(修了)予定期
転出学部・ 転出学科	学校名	学部・課程	学科・研究科	(西暦) 20 年 月 日 まで在籍	当初の卒業予定期 (西暦) 20 年 月
転入学部・ 転入学科		学部・課程	学科・研究科	(西暦) 20 年 月 日 より在籍	卒業予定期 (西暦) 20 年 月

「奨学金貸与月額変更願(届)」を同時に提出する・提出しない

- 提出しない ※貸与月額の変更を希望する場合は、この継続願と「第二種奨学金(海外)貸与月額変更願」を同時に提出してください。また、「連帯保証人・保証人記入項目」に自署・押印の上、印鑑登録証明書(各願毎に1通)を添付してください。月額変更に伴い保証料月額が変更となります。
- 提出する

■貸与総額が増加する場合は記入 (転学部(転学科)により貸与期間が延長する等)

変更後の借用金額 (予定)										円
------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	---

※現在の奨学生番号の貸与始期から転学部・転学科の卒業予定期までの総額を計算して記入してください。(入学時特別増額貸与奨学金を含む)(裏面参照)

※「第二種奨学金(海外)貸与月額変更願」を同時に提出する場合は、「変更後の借用金額」は、月額を変更した上で貸与期間(終期)を延長した金額を記入してください。

※借用金額を訂正する場合は、裏面の訂正方法を参照してください。

※貸与総額の増加に伴い保証料月額が変更となります。

〔連帯保証人・保証人記入項目〕

※連帯保証人・保証人それぞれの自署と実印での押印、及び添付書類として印鑑登録証明書(各1通)が必要です。
※機構届出の連帯保証人又は保証人が債務整理(破産等)中の場合は、本願提出前に「連帯保証人・保証人等変更届」を提出してください。

私は、上記の貸与期間(終期)の延長により貸与総額が増加することを承諾し、記載の奨学生番号によって本人が負担する一切の債務につき、奨学金の返還の完了まで本人と連帯して保証し、関係法令及び返還誓約書等にしがって債務履行の責を負います。

機構届出の
連帯保証人
(自署) 住所 〒 ()
氏名 ()
電話番号 ()
(昭和・平成)
生年月日 年 月 日
実印

私は、上記の貸与期間(終期)の延長により貸与総額が増加することを承諾し、記載の奨学生番号によって本人が負担する一切の債務につき、奨学金の返還の完了まで保証し、関係法令及び返還誓約書等にしがって債務履行の責を負います。

機構届出の
保証人
(自署) 住所 〒 ()
氏名 ()
電話番号 ()
(昭和・平成)
生年月日 年 月 日
実印

■本人が未成年者の場合のみ記入

上記の者が、現在貸与を受けている奨学金について本申請を行うことに同意します。

親権者 又は 後見人	住所 〒 () (親権者・未成年後見人) 氏名(自署)	電話番号 () (昭和・平成) 生年月日 年 月 日
	住所 〒 () (親権者) 氏名(自署)	電話番号 () (昭和・平成) 生年月日 年 月 日

[様式13-裏]

1. 提出書類

- (1) 第二種奨学金(海外)転学部・転学科奨学金継続願
- (2) 「在籍証明書」「成績証明書」「履修証明書」等以下の内容が記載された証明書(日本語訳添付)
 - ① 卒業予定年月
 - ② 転学部(科)の内容
 - ・転学部(科)の時期
 - ・具体的な転学部(科)内容 例:〇〇学部(科)から〇〇学部(科)へ転学部(科)
 - ③ 取得する学位
- (3) 連帯保証人・保証人の「印鑑登録証明書」(原本、各1通)・・・(貸与期間(終期)の延長を伴う場合のみ)
- (4) 事情書(様式自由)・・・(提出期限を過ぎて「転学部転学科奨学金継続願」を提出する場合のみ)

2. 提出期限

転学部・転学科した日から3か月以内

※3か月以上経過して転学部転学科奨学金継続願を提出する場合は事情書の添付が必要。

3. 卒業期の変更に伴う貸与期間の延長のため、貸与総額が増額となる場合の借用金額の計算例

- (1) 進学届提出時に申請した内容:

2018年4月に理学部に入学、卒業予定は2021年7月。2018年4月貸与始期で貸与期間は40か月。貸与月額100,000円。貸与開始に伴い提出済みの返還誓約書の借用金額(当初の貸与予定の借用金額)

(理学部) $100,000円 \times 40か月 = 4,000,000円$

※ 40か月・・・2018年4月～2021年7月 (進学届提出時に申請した貸与期間)

- (2) 転学部により卒業期の変更があり、貸与期間の延長が必要なために申請する内容:

2018年4月に理学部に入学、2020年1月まで理学部に在籍。理学部での貸与期間は22か月。

2020年2月に工学部に転学部し、2022年5月卒業予定。転学部後、工学部での貸与期間は28か月。

転学部による貸与期間の延長に伴い変更となった後の借用金額(今回の願い出に伴う変更後の借用金額)

$100,000円 \times 22か月 + 100,000円 \times 28か月 = 5,000,000円$

(理学部)

(工学部)

4. 変更後の借用金額(予定)欄の訂正方法について

奨学生に採用された後に月額の変更や貸与期間の延長・訂正に伴い、借用金額(予定)を増額する場合は、「返還誓約書」に記載した借用金額の増額となるため、本人及び親権者(本人が未成年者(20歳未満)の場合)に加え、連帯保証人と保証人にも同意を得た上で署名捺印(実印)と印鑑登録証明書の添付が必要です。そのため、「変更後の借用金額(予定)」を誤って記入した場合は、次のとおり訂正が必要です。

「変更後の借用金額(予定)」の訂正方法:次の①②のいずれかの方法で訂正してください。

- ① 借用金額全体を二重線で抹消し「訂正印」を押し、余白に正しい金額を記入する。本人印に加え、連帯保証人と保証人の実印による訂正印が必要。

- ② 新たな用紙に記入する。

【訂正方法】変更後の借用金額(予定)を誤った場合について

- ① 誤った借用金額に二重線を引きます(1円の単位まですべての数字を抹消してください)

変更後の借用金額(予定) ~~2215000~~円

- ② 二重線の上に、訂正印を押印してください。

本人印・連帯保証人実印・保証人実印を重ねないように押印。

変更後の借用金額(予定) ~~2215000~~円

本人 連帯保証人 保証人

- ③ 正しい金額を訂正した欄の上部余白に、はっきりと記入してください。

変更後の借用金額(予定) 4800000
~~2215000~~円

本人 連帯保証人 保証人